

職員・住民ワークショップ 結果報告

令和8年6月

○R8.3.24 職員ワークショップについて

職員ワークショップ開催及び検討結果

開催概要

対象	係長級職員
参加者数	16名（2名欠席）
実施日時	3/24（火）10:00～12:00、13:30～15:30
実施場所	役場 3 階会議室
目的	✓ 第3次総合計画の将来像・基本目標の検討材料として、「基本目標」レベルの将来像案・キーワードを収集・整理すること ✓ 基本目標の実現に向けた施策体系のあるべき姿を検討し、次期計画の内容や今後の組織機構の見直しの参考とすること
ワーク内容	係長級職員が 4 班に分かれ、班ごとに個人ワークの後、グループワークを実施 1. 職員研修後アンケート結果や築上町の特徴などを元に、割り当てられた基本目標について、「基本目標」レベルの将来像案・キーワードを検討 2. 基本目標の実現に向けて、現行の施策体系（叩き台）からの変更点を検討・整理 ※ 全 6 基本目標について、各班が 3 基本目標ずつを担当

検討結果

基本目標	グループワーク検討結果 (将来像案)	個人ワーク検討結果 (キーワード)	理由・想い
くらし	住んでみたい、住み続けたい、 ウェルビーイングな町	✓ すべての人が安心して幸せを感じながら生活できる ✓ 子育てを町ぐるみで支援する ✓ あらゆる年代の方が自分の求める形で社会参画ができる ✓ 自他を尊重する意識の醸成によるあたたかい町づくり ✓ 安心・安全に暮らせる	✓ 若者の流出が課題であるため、子どもへの教育や地域学習を通じて町への愛着や誇りを育み、将来的なUターンにつなげたい ✓ 住民が幸福（ウェルビーイング）を実感しながら生活できる環境を整備したい ✓ 「暮らしやすい」「この町で暮らすと幸福度が高い」と感じられるまちづくりにより、一度町外に出た人も戻りたいと思えるようにしたい
まなび	子どもから高齢者まで全ての人が いろいろな学びができる町	✓ 自分にあった学びの場が選択できる ✓ 学ぶことの楽しさを実感できる機会の確保 ✓ 多様な生き方を学べる ✓ 充実した学びの場 ✓ 郷土愛を醸成する	✓ 子どもから高齢者まで、すべての住民が生涯にわたり学びの機会を得られるまちにしたい ✓ 教育を通じて、地域への愛着や誇りを育み、進学・就職等で一度町外に出ても、将来的に戻りたいと思える人を増やしたい ✓ 一人ひとりの関心や状況に合った多様な学びを提供し、学ぶことの楽しさを実感できる環境を整備したい
しごと	住民と行政がともに価値を 作り出す自律した町	✓ 雇用の確保 ✓ 農林水産業 ✓ 住民と行政がともに価値を作り出す自律したまち ✓ 町の現状から一次産業が最も多いので人材確保と所得の保証が重要 ✓ 農林水産業の所得向上を目指す	✓ 職員研修後アンケートで示された「住民と行政がともに価値を作り出す自律した町」という理念に強く共感し、現場の声として採用した ✓ 働く人の生活基盤を支えるうえで適正な所得の確保は不可欠であり、まずは所得の向上を図りたい ✓ 住民が夢や希望を持てるよう、やりがいと成長を実感できる仕事・働く場の創出・育成に取り組む

検討結果

基本目標	グループワーク検討結果 (将来像案)	個人ワーク検討結果 (キーワード)	理由・想い
くらし	子供から大人まで幸せを感じるまち	✓ 主観的幸福感（ウェルビーイング） ✓ 子供から大人までの幸福感向上	✓ 健康・福祉分野では、子どもから高齢者までの制度・サービスは一定程度充実しているが、今後は利用者本位の視点から、生活の質や主観的幸福感（ウェルビーイング）の向上につながる支援へと深化させることが重要であるとする ✓ 他者から「幸せそうに見える」ことよりも、一人ひとりが日々の暮らしの中で自分自身の幸せを実感できる環境づくりを重視したい
まなび	多様な学びが経験できるまち	✓ 教室外の学びの場 ✓ 多様な学習機会 ✓ 学校教育のみでなく、生涯学習の向上	✓ 住民アンケートにおいて、教育は築上町の強みとして評価されており、この優位性を一層高めていくことが重要であるとする ✓ 学びの場を教室内に限定せず、地域での探究や企業・団体との連携、国内外との交流など、多様な学習機会を提供することが重要である ✓ 学校教育にとどまらず、全住民を対象とした生涯学習を充実させ、年齢や関心に応じた学び直しやスキル習得の機会へのアクセスを強化したい
しごと	まちの資源をいかした産業のまち	✓ まちの資源 ✓ 産業のまち	✓ 企業誘致に過度に依存せず、地域の基幹である農林水産業の強みを活かしつつ高度化・高付加価値化を図ることが重要である ✓ 高齢化の進行を踏まえ、若年層の担い手を充実させることが重要であるとする

検討結果

基本目標	グループワーク検討結果 (将来像案)	個人ワーク検討結果 (キーワード)	理由・想い
あんしん	明るくきれいな安全・安心できるまち	✓ 明るくきれいで災害時も安心できるまち ✓ やすらぎと安全・安心のまちづくり ✓ 明るくきれいな安全・安心できるまち ✓ コンパクトシティを実現する	✓ 現行版の基本目標「やすらぎと安全・安心のまちづくり」で掲げる「安全・安心」は、今後もまちづくりの最重要視点であると考え ✓ 町民から「街灯が少なく、夜間の外出が不安」との声が日常的に寄せられていることから、夜間の視認性向上や犯罪抑止の観点で「明るく」を将来像に明記する ✓ 清潔で整った環境や良好な景観の維持は、住民の安心感と満足度の向上に直結することから、「きれいなまち」を目指す姿として示す
まち	コンパクトでスマートなまちづくり	✓ 生活基盤を充実図るまち ✓ コンパクトでスマートなまちづくり ✓ スマートシュリンク（賢く縮む）なまちづくり ✓ 活力とにぎわいがある笑顔あふれるまちづくり ✓ 生産性向上するための農業・漁業・産業のICTインフラ整備 ✓ デマンドタクシーの進化 ✓ 施設の統廃合	✓ 人口減少の進行は高い確度で見込まれることから、持続可能な都市経営の観点で「スマート・シュリンク」の考え方を重視する ✓ 生活拠点の集約とネットワーク化、公共交通やインフラの最適化、デジタル技術の活用により、コンパクトでありながら利便性と行政サービスの質を維持・向上させたい
きばん	住民と行政が協同し、持続可能なまちづくり	✓ 住民と行政が協同し、持続可能なまちづくり ✓ 女性も男性もともに活躍できるまちづくり ✓ 学校を単なる建物ではなく、ヒト・モノが集まる基盤	✓ 人口減少の進行と財源の制約を踏まえ、限られた資源を効果的に活用し、効率性と持続可能性を両立するまちづくりが不可欠であると考え ✓ 女性をはじめ、年齢や属性を問わず誰もが能力を発揮し活躍できる包摂的な環境を整備し、多様な参画を促進したい

検討結果

基本目標	グループワーク検討結果 (将来像案)	個人ワーク検討結果 (キーワード)	理由・想い
あんしん	最小限の維持管理で災害に強く 安心・安全に暮らせるまちづくり	✓ 災害に強く安心して住み続けられるまちづくり ✓ 最小限の維持管理 ✓ 皆が安心・安全に暮らせるまちづくり	✓ 限られた財源の中でも現在の暮らしの質を守り続けるため、維持管理負担の最小化（最適化）と、防災・減災機能の強化を両立させることが重要である ✓ 防犯カメラや防犯灯を計画的に整備・更新し犯罪抑止と住民の安心感を高めたい
まち	コンパクトタウンで快適な新たな 住みよいまちづくり	✓ コンパクトで快適なまち ✓ コンパクトにつながる住みよいまちづくり ✓ コンパクトタウン	✓ 施設の老朽化と人口減少・財源制約を見据え、公的施設・インフラの集約化、複合化、長寿命化を進めることで、維持管理負担を抑えつつ、サービスの質と利便性を維持・向上させるコンパクトな都市構造へ転換することが重要である ✓ 病院・診療所、商業施設、行政サービスなど日常生活に不可欠な機能を生活拠点に集約し、徒歩・自転車・公共交通でアクセスできる利便性の高い暮らしを実現したい
きばん	住民満足度が高く持続可能で 自立可能なまちづくり	✓ 先を見据えた持続可能なまちづくり ✓ 住民満足度の高いまち ✓ 持続可能で自立可能なまちづくり	✓ 良好な人間関係や地域のつながりは住みやすさの核心であり、まちのイベントやサークル、居場所づくり等の地域活動を積極的に支援・促進し、参加機会を拡充していきたい ✓ 地域づくりの土台となる自治体経営の方向性として健全な財政運営を行いたい ✓ 人口規模に左右されず、住む人が「この町が良い」と実感できる質の高い暮らしを実現するため、基本的な公共サービスの確保と、コンパクト＋デジタルの組み合わせで利便性と包摂性を維持・向上することが重要である

○R8.4.18 住民ワークショップについて

住民ワークショップ開催概要及び検討結果

開催概要

対象	町内在住の18歳以上の方
参加者数	13名
実施日時	4/18（土） 10:00～12:00
実施場所	築上町コミュニティセンターソピア 多目的ホール
目的	✓ 10年後に目指すまちの「将来像」や「基本目標」に関して検討する
ワーク内容	○ 3つの班に分かれ、グループワークを実施 ワーク①築上町の現状～築上町の良いところ、悪いところ？～ ワーク②理想の未来像～10年後、どんなまちになっていたら、知人に築上町をよりおすすめできるか？～ ワーク③将来像の検討

主な意見（ワーク①、ワーク②）

良いところ	✓ 子育て支援が多い ✓ 人が温かい ✓ 築きのもり図書館が素晴らしい ✓ 災害が少ない ✓ 自然が豊か ✓ 各団体が頑張っている ✓ 豊富な観光資源 ✓ おいしい特産物 ✓ メタセの杜やキャンプ場がある ✓ 神幸祭や航空祭がある ✓ ちょうどいい田舎 ✓ 高速道路へのアクセスが良い ✓ 公共施設がきれい
悪いところ	✓ 子供が少ない、若い人が少ない ✓ 救急病院が遠い ✓ 子供の集まる場所が欲しい ✓ 電子化対応が不足している ✓ お祭りが小さくなっている ✓ 空き家が多い ✓ 働く場所が少ない ✓ お店が減って買い物不便 ✓ 荒れた田畑が多い ✓ 交通の便が悪い ✓ 車が生活に必須 ✓ ホテルが少ない ✓ 駅前が寂しい ✓ 建物が古い ✓ 情報が少ない ✓ 個人情報保護ができていない
10年後、どんなまちになっていたら、知人に築上町をよりおすすめできるか？	✓ 共働きでも子育てしやすく ✓ 誰でも安心して暮らしやすい ✓ 若者が集まる場所がある ✓ 特色のある教育環境 ✓ まちの文化の継承 ✓ 一人一人の人権尊重 ✓ 自然を大切にし、維持する ✓ 住宅環境の整備 ✓ 安心・安全なまち ✓ 働く場所が豊富、工業団地 ✓ 特産品の開発 ✓ 買い物できる場所が多い ✓ 鉄道本数が増加、駅前開発 ✓ 自動運転、交通の便向上 ✓ 移住受け入れ態勢の整備

将来像の検討（ワーク③）

項目	将来像案					
ワーク②の 検討内容	<くらし> ・共生社会 （若者、子ども、 障がい者、高齢 者）	<まなび> ・町独自の取組 ・文化の継承 ・学校と地域の繋が り	<あんしん> ・安心 ・防犯 ・子どもの安全	<しごと> ・災害に強い ・産業の誘致 （北九州の例に） ・IT ・空家バンク活用 ・誘致	<まち> ・交通基盤の整備 ・道路の整備 ・交通手段の充実、 支援	<きばん> ・住民の意見を聞く
フレーズ	<u>みんなで</u>	<u>挑戦する</u>	<u>明るいまち</u>	<u>住みやすく</u>	<u>交通手段の整備</u>	<u>住民と一緒に</u>
将来像	みんなで挑戦する住みやすく、明るいまち “築上町”					
	<発表内容> ・子ども、若者、障がい者、高齢者など、誰もが取り残されことなく安心して暮らせる共生社会を築上町で実現し、住民みんなでよりよ いまちづくりを進めていきたい。 ・「挑戦」を大切に、さまざまな取組に住民が積極的にチャレンジできるまちを目指したい。 ・子どもの安全・安心を確保できるまちづくりを進めていきたい。					

将来像の検討（ワーク③）

項目	将来像案					
ワーク②の 検討内容	<くらし> ・選ばれるまち （人がくるまちが よい）	<まなび> ・特色ある教育 （他のまちにはない 教育）	<あんしん> ・支え合いのまち ・見守りがあるまち ・つながりのあるまち	<しごと> ・稼げるまち （産業発展、企業 誘致）	<まち> ・あかぬけたまち （駅前をきれいにす ると人が集まる）	<きばん> ・便利でやさしいまち
フレーズ	チャレンジしよう ひとりひとりの色 が輝く	カラフル （いろんなことが出 来る盛り上がってい るイメージ）	つながり、つながる	えらばれる	いろんな花を咲かせ よう	生きがい
将来像	カラフル、つながる、えらばれる～個性が輝く築上町～					
	<発表内容> ・一人ひとりの個性や多様な価値観が尊重され、子どもから高齢者まで誰もが自分らしく暮らし、学び、活躍できる「カラフル」な築上町を目指したい。 ・住民同士が支え合い、見守り合うとともに、人や地域、活動が「つながる」ことで、安心して暮らせるまちづくりを進めていきたい。 ・特色ある教育、働く場の創出、駅前整備や利便性の向上などを通じて、住みたい・訪れたい・働きたいと「えらばれる」築上町を実現したい。					

将来像の検討（ワーク③）

項目	将来像案					
ワーク②の検討内容	<くらし> ・笑顔になれる街 ・豊かな街 ・自動運転	<まなび> ・住みたい町 ・祭り、文化の継承	<あんしん> ・絆でつくる街 ・コンパクトシティ	<しごと> ・個人企業の拡大と充実 ・築上の極上の特産物	<まち> ・人は宝	<きばん> ・ご近所付き合い ・世界一幸せになれるまち ・幸せになれるまち ・声が届くまち
フレーズ	笑顔	イサッチョーネ	絆	築上町推し！		幸せ
将来像	イサッチョーネ♡ 笑って100歳 築上町					
	<発表内容> ・祭りや文化や特産物等、築上町らしさを持ちながら、町民みんなが助け合い笑顔で長生きできる街になってほしいという思いを込めている。 ・築上町らしさを大事にする意味で、築上町の方言で、目立つ飛び跳ねるという意味を持つ「イサッチョーネ」という単語を入れている。					